

2022年

# 岩手県消費者大会

消費者大会は年1回開催され、県民の皆さんの学習・交流の場です。どなたでも参加できます。

10月25日(火) 10:00~15:00 アイーナ7階

(盛岡市駅西通1-7-1 TEL 019-606-1717)

参加  
無料

◆午前:分科会 10:00~11:30 4つの分科会から興味があるところへご参加ください。

- ①食の問題:国産食品と輸入食品はどう違う? ~安全性や価格について考える~
- ②社会保障問題:安心して暮らせる社会に ~年金・介護・医療制度の改善を~
- ③格差・貧困問題:若者の貧困とそれをとりまく環境 ~希望を持てる社会の実現を~
- ④環境問題:岩手の環境・エネルギーの実態とこれから

◆午後:全体会 13:00~15:00(小田島組☆ほ~る)

## 1. 基調講演

### 「ロシアのウクライナ侵攻によるまさかの影響! ~平和とこれからの暮らし」

講師:東京新聞社社会部記者 もちづき いそこ 望月衣塑子さん

国内の新型コロナウイルス感染は第7波が到来し、経済活動と感染防止の両立がとられ始めています。コロナの長期化に加え、円安、またロシアによるウクライナ侵略は他国の戦争であっても、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしています。暮らしに直結する食品やエネルギーなどの値上げが相次ぎ、家計を圧迫、消費者物価指数の上昇の継続は、消費税3%増税と同程度の負担増との分析もあります。またウクライナ危機の報道から、日本でも防衛力強化の声が上がり、軍事費の増額や敵基地攻撃能力の保有、核共有、武器輸出の緩和までもが検討されようとしています。防衛費の拡大や物価上昇で、私たちの暮らしはどう変わのでしょうか。「委縮することなく記者の使命である権力の監視を常に続けていきたい」とおっしゃる望月衣塑子さんに、平和や報道の在り方についてお話ししていただきます。望月さんの講演を聞いてみんなで考え合しましょう。



《望月衣塑子さんのプロフィール》

■2000年に東京・中日新聞に入社。県警、東京地検特捜部、東京地裁・高裁等を担当。その後経済部記者、社会部遊軍記者を経て、17年以降は森友学園・加計学園問題の取材チームの一員となり、官房長官会見で質問続けた。現在は社会部遊軍記者として、入管問題、ジェンダー格差、ロシアのウクライナ侵攻など取材。  
■主な著書に「武器輸出と日本企業」・「新聞記者」・「報道現場」(角川新書)、「権力と新聞の大問題」(集英社)、「なぜ、日本のジャーナリズムは崩壊したのか」(講談社+α新書)など多数。

## 2. アピール提案

※参加は事前申し込みが必要です。裏面の申し込み用紙をご利用ください。

主催:岩手県消費者大会実行委員会(16団体)

後援:岩手県・盛岡市

【お問い合わせ】岩手県消費者団体連絡協議会

〒020-0690 岩手県滝沢市土沢220-3

TEL 019-684-2225 FAX 019-684-2227

メールアドレス:sn.isyodanren@todock.coop

〈会場案内図〉



# 分科会紹介 10:00~11:30

会場：アイーナ7階

「くらしの問題～あなたならどうしますか？」関心のあるところに参加して考え合いましょう！

<b>第1分科会</b> 『食の問題』 ～企画運営団体～ ・いわて生協 ・岩手県退職女性教職員の会 ・岩手労済生協  会場 7階小田島組☆ほ～る	<b>「国産食品と輸入食品はどう違う？～安全性や価格について考える～」</b> 日本人の食生活は今では輸入食品によって支えられています。しかし、ウクライナ危機や相次ぐ異常気象によって輸入量や価格が変動し、そのたびに不安を覚えてしまいます。一方、国産食品は輸入食品に比べ価格が高い物が多く、買うのをためらうこともあります。なぜ輸入食品は安いのか？そのからくりや安全性について学び、これからの日本の食料事情についてみんなで考えてみましょう。  ◇話題提供 岡田現三さん（岩手県農民連事務局長） ◇意見交流
<b>第2分科会</b> 『社会保障問題』 ～企画運営団体～ ・岩手県母親大会連絡会 ・新日本婦人の会岩手県本部 ・盛岡医療生協 ・岩手県母と女性教職員の会 会場 7階701会議室（定員36名）	<b>「安心して暮らせる社会に～年金・介護・医療制度の改善を～」</b> 年金は下がる一方で、介護保険料の引き上げや昨今の物価高騰などで高齢者の生活は苦しくなっています。そんな中、2022年10月から一定所得（年収200万円）以上の方の後期高齢者医療費窓口負担2割化が始まります。2割化は負担増だけでなく、受診抑制による手遅れ事例の発生、病状の悪化を招く恐れがあります。社会保障制度改善の必要性をみなさんと学習を深め考えてみましょう。  ◇助言者 川久保病院医療相談室（予定） ◇意見交流
<b>第3分科会</b> 『格差・貧困問題』 ～企画運営団体～ ・岩手県学校生協 ・消費者信用生協 ・I女性会議 ・岩手県労働者福祉協議会 会場 7階702会議室（定員36名）	<b>「若者の貧困とそれをとりまく環境～希望を持てる社会の実現を～」</b> コロナ禍において経済的に困窮している人たちが多く、光があたりにくいのが若者の貧困です。学費が高騰し家計収入も減少、コロナが追い打ちをかけ学びを諦める学生がいます。卒業したとしても、奨学金の返済が重くのしかかり、結婚や出産をためらうなど将来に多大な影響を及ぼしています。若者の貧困は、少子化など様々な社会問題にもつながります。若者が希望をもてる社会を実現するために、今私たちにできることを一緒に考えましょう。  ◇助言者 森崎信介さん（弁護士法人岩手銀河法律事務所弁護士） ◇意見交流
<b>第4分科会</b> 『環境問題』 ～企画運営団体～ ・岩手県生協連 ・岩手大学生協 ・県立大学生協 ・盛岡大学生協 会場 7階703会議室（定員36名）	<b>「岩手の環境・エネルギーの実態とこれから」</b> 持続可能な未来のためには、省エネや節電を進める一方で、再生可能エネルギーを増やして、他国からの輸入に頼りすぎないことが大事です。岩手県は再生可能エネルギーの潜在能力が高いと言われますがその実態は？また、CO2排出を減らすための、行政や県内企業、市民の努力は進んでいるのでしょうか。最新のエネルギー事情や、温暖化防止のためにそれぞれの立場でやるべきことを学び交流します。地球規模で考えて、足元から行動を始めていきましょう。  ◇ミニ講演 渋谷晃太郎さん（認定NPO法人 環境パートナーシップいわて代表理事） ◇意見交流

参加申し込み：参加は事前申し込みが必要です。FAXまたはメールでお申し込みください。  
【FAX】019-684-2227 【メールアドレス】sn.isyodanren@todock.coop  
締 切 日：10月18日(火) ※定員（250名）になり次第締め切らせていただきます。

お 名 前	ご連絡先（電話番号等）	所属団体等	参加希望に○をつけてください		備考
			全体会	分科会	
				1. 食 2. 社会保障 3. 格差・貧困 4. 環境	

Zoom視聴参加：全体会は、当日Zoomでの視聴参加も可能です（定員100名になり次第締め切らせていただきます）。視聴ご希望の方は、「お名前・電話番号・団体名・Zoomでの視聴希望」とご記入の上、isyodanren@gmailまでメールでお申し込みください。後日、ZoomのURL、ID等をお知らせいたします。

- \* どなたでもご参加いただけます（参加無料）。お気軽にお申し込みください。
- \* いただいた情報は消費者大会参加集約の目的以外には使用いたしません。
- \* 来場の際にはマスクの着用と手指の消毒をお願いします。また、当日は体温の確認をさせていただきます。
- \* 昼食は各自でお願いいたします（お弁当は用意しません）。ご持参の場合は、「小田島組☆ほ～る」をご利用ください。
- \* 新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、オンライン講演、または中止となる場合があります。ご了承ください。